

心房細動アブレーション治療後の心筋逸脱酵素の上昇の程度を、新規技術であるパルスフィールドを用いたアブレーション治療と従来の高周波・クライオアブレーションを用いた治療とで比較する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

心房細動に対するカテーテルアブレーション治療は従来「高周波を用いた焼灼による治療」と「クライオアブレーションを用いた冷凍による治療」がありました。カテーテルアブレーション治療の際に、心筋に与える影響により、術後に心筋から酵素が出てくるようになります。これを、心筋逸脱酵素といい、カテーテルアブレーション治療後の血液検査ではこれらの心筋から出る酵素の値は上昇します。

2024年8月よりパルスフィールドアブレーションという新しい治療方法が開始になりました。比較的広範な心筋に対して治療を行うため、治療後の心筋逸脱酵素の上昇の程度が大きいことはすでに海外で報告されていますが、日本人におけるデータはありません。そこで、当院でパルスフィールドアブレーション治療を受けた患者さんと高周波もしくはクライオアブレーション治療を受けた患者さんの心筋逸脱酵素の上昇の程度を比較調査します。

診療を通じて得られた情報を使用し、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

心房細動に対して、下記治療を受けた方を対象とします。

- ・2024年7月1日～9月11日に高周波にてカテーテルアブレーション治療を受けた方
- ・2023年4月～2024年9月11日にクライオアブレーションにて治療を受けた方
- ・2024年8月～2025年1月にパルスフィールドアブレーションを受けた方

使用する試料・情報

年齢、性別、心房細動の種類、身長、体重、既往歴、心エコー検査
血液検査の結果（心筋逸脱酵素にあたるCK、CK-MB、Troponin I）

研究予定期間

2025年1月15日～2025年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕循環器内科 岡松秀治

〔当院の個人情報管理責任者〕院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停

止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 循環器内科 岡松秀治 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---